

伊吹山ネイチャーネットワーク

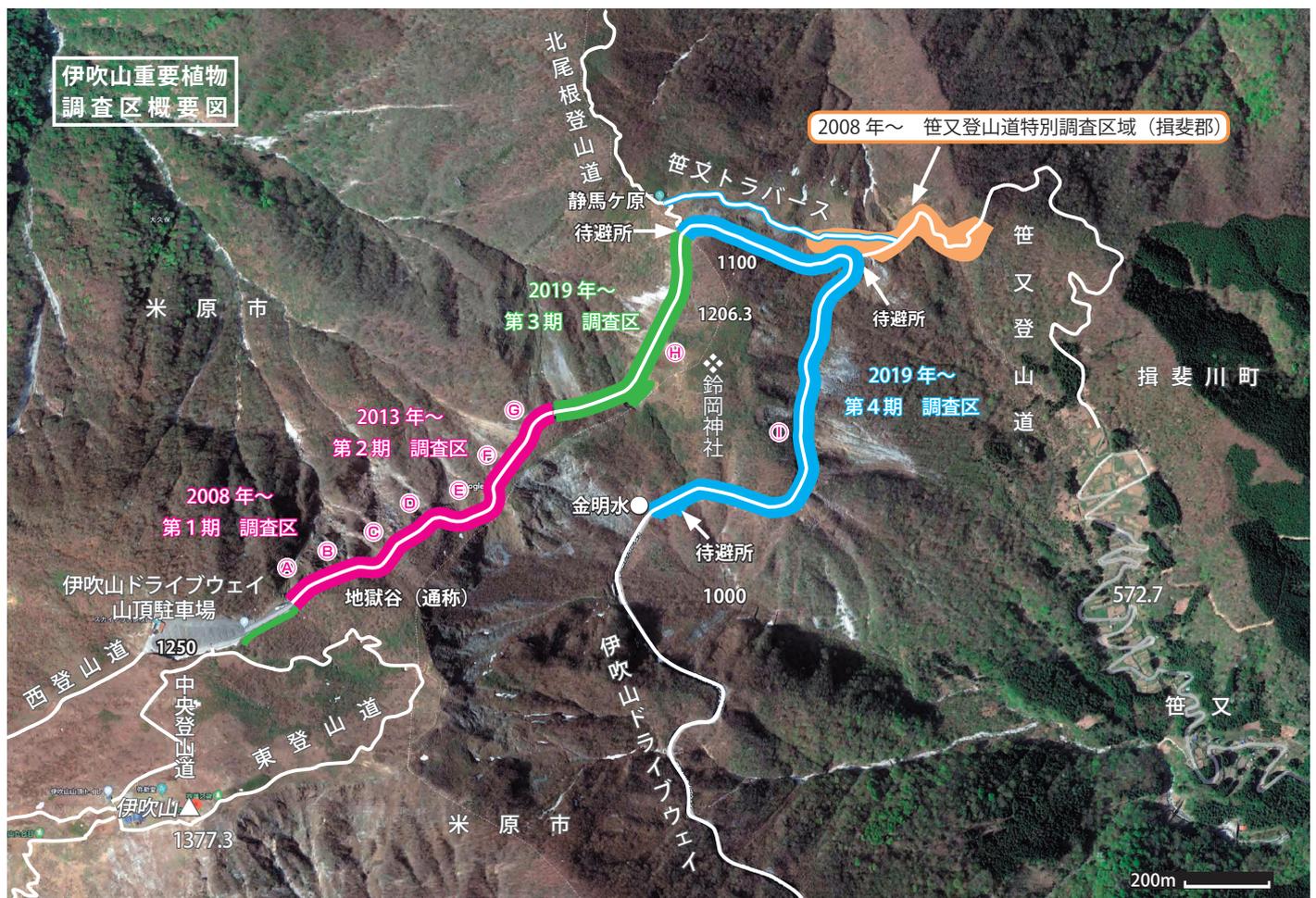
令和元年度（2019年度）伊吹山重要植物調査業務完了報告書<資料>

【実施期間】 令和元年（2019年）8月26日～10月20日

【実施者】 伊吹山ネイチャーネットワーク（調査報告者：筒井杏正）

【調査地】 山頂／伊吹山ドライブウェイ沿道（以下略：DW）／静馬ガ原／笹又登山道

【主な対象植物】	チチブリンドウ	滋賀県＝絶滅危惧種，岐阜県＝絶滅危惧Ⅰ類，環境省＝絶滅危惧Ⅱ類 (EN)
レッドデータ	ホソバナツルリンドウ	滋賀県＝分布上重要種，岐阜県＝絶滅危惧Ⅰ類，環境省＝絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
カテゴリ▼	イブキコゴメグサ	滋賀県＝希少種，岐阜県＝絶滅危惧Ⅰ類，環境省＝絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
／滋賀県	ヒナノキンチャク	滋賀県＝絶滅危惧種，岐阜県＝絶滅危惧Ⅰ類，環境省＝絶滅危惧Ⅱ類 (EN)
／岐阜県	エンシュウツリフネソウ	滋賀県＝なし，岐阜県＝絶滅危惧Ⅰ類，環境省＝絶滅危惧Ⅱ類 (EN)
／環境省	イブキレイジンソウ	滋賀県＝希少種，岐阜県＝絶滅危惧Ⅰ類，環境省＝絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
	マネキグサ	滋賀県＝絶滅危惧増大種，岐阜県＝準絶滅危惧種，環境省＝準絶滅危惧 (NT)
	コイブキアザミ	滋賀県＝分布上重要種，岐阜県＝絶滅危惧Ⅱ類，環境省＝絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



A 調査区 (2008年～) / B・C・D 調査区 (2009年～) / E・F・G 調査区 / H 調査区 (2019年～) / I 調査区 (2019年～) 2008年～
 笹又登山道特別調査区域

【調査区域】 伊吹山ドライブウェイ沿道の調査区間9ブロック (A・B・C・D・E・F・G・H・I)，および特別調査区域として北尾根・静馬ガ原～笹又トラバース～笹又登山道の一部を任意で設けた。このうち、「H・I 区間」は、今年度新たに設けた。理由は、2008年から調査してきた区間 (A・B・C・D・E・F・G) において全ての重要種が、著しく減少または個体数が確認できなくなったことによる。

また、2008年から北尾根・静馬ガ原～笹又トラバース～笹又登山道の重要種の個体数データを記録しており、この区間においても重要種が同様に激減状況にあることが明らかになり、将来的に重要な調査区域として定めた。

【調査方法】 目視にて重要種を確認し、個体数・草丈・生育場所等を記録。なお、複合的な要因※により環境劣化した今までの調査（プロット）は、砂漠の不毛地帯に定点を設け調べるようで正確なデータが得られない。このことから、従来のコドラート法でなく、特徴的な地形ごとの植生における出現頻度等を比較することが出来るライトランセクト法で実施した。

※地球の温暖化，シカの食害，草刈，生育地の踏みみなど